

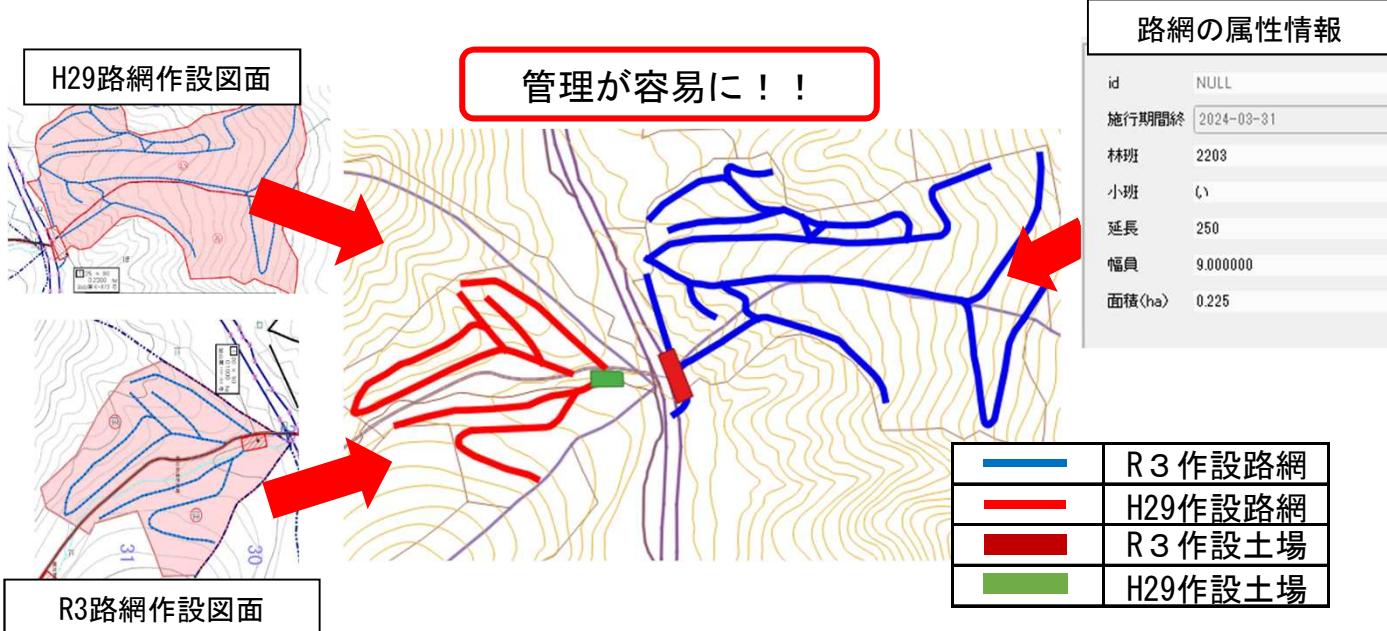
研究の背景・目的

路網は森林施業において重要であるが、現在、既設の路網は紙の図面で位置などを把握することが多く、古いものになると整理されていない・縮尺が合わないなど管理に多くの手間と時間を要しています。

このことから、広く一般的に利用されているQGISを用いて、路網データ整理を行い、より簡易に路網を管理する方法を検討しました

研究の内容・成果

従来の紙で管理していた図面をQGISに図形データと属性情報を持った地図データファイル（以下シェイプファイル）に変換し、複数の図面を地図上で統合することで団地的な路網の把握を簡易にしました。



更に、シェイプファイルに作設年度や延長、面積などの属性情報を付与する機能を使用しQGIS上で様々なデータを抽出する方法について整理し各工程をマニュアル化しました。

これらの取り組みにより、地方自治体や一般の方にも活用しやすく、路網図の管理をより簡易にすることが可能になりました。

QGISの利点

フリーソフトであるため一般の方でも使用可能

シェイプファイルはデータ量が軽くファイルの管理も簡易

作設年度別にレイヤ分けすることで、分離・統合も簡易

データを事業者に提供することも可能

今後の展開

今後は、作成したQGISのシェイプファイルに林道の災害箇所等の写真等情報を追加し、適切な路網の管理に努めます。

また、作成したマニュアルを用いて、関係自治体や事業体への講習会を開催し、QGISを利用した路網の管理の普及を推進します。

更に、局HP等にマニュアルを掲載し、広く一般に配布できる体制を目指します。